

## 屋久島：宮之浦岳

- ◆日程 2023年11月5日(日)～7日(火)
- ◆メンバー L:OT

九州遠征6日間の旅も後半に入り、いよいよ屋久島。

10月の連休に屋久島で行動したMTさんとWYさん、そして以前屋久島に渡った方々から情報を頂き、淀川登山口から宮之浦岳を含む三岳縦走～縄文杉～白谷雲水峡という、二泊三日の計画とした。飛行機が飛ばないこともよくあるとのことで、船による一日遅れの上陸でも日帰り登山で対応し得る作戦で臨んだ。

11月5日(日) 天候：曇後雨

熊本水前寺公園そばのホテルを早朝に出て6:42 発鹿兒島行き的高速バスに乗車。車中で寝ているうちに



9時頃鹿兒島空港。10:30 発屋久島行の飛行機に乗る。噂に聞いたプロペラ機は最新型のATR72。35年前に三宅島に行く時に乗ったYS-11のワイルドな感じはなく、洗練された旅客機だった。上陸してみると下界は晴れているが、山間部には濃厚な雲が掛かっている。空港で食事とガス缶購入、近くのスーパーで食料買い出しを済ませ、路線バスに乗車。乗り継いだ登山バスが山間部にさしかかると雨が降り出した。淀川登山口手前の紀元杉に15時近くに到着。他の乗客3人組の目的地も同じ。登山口で入山料2千円を投函して出発。雨の中、談笑しながら進み、明るいうちに小屋到着。先着者はなく、4人で広々だ。近くの沢で水を確保、早目に食事をして就寝。食料はネズミ対策で吊るしておく。

CT:屋久島空港=(バス)=紀元杉 14:45 - 淀川登山口 15:15 - 淀川小屋(泊) 15:55

11月6日(月) 天候：雨時々曇

3時起床。他の三人は熟睡中。目標の4時より遅れて出発。雨は降っていないが霧が多湿。寒くはないが、体に湿気がまとわりつく。暗い中を慎重に進むと黒見岳への分岐でようやく携帯電話が繋がる。天気予報を確認すると昨日と変わっておらず、夕方までは大雨は降らない。ここまでコースタイムよりも速く、朝のうちは時々晴れるようなので、黒見-宮之浦-永田の三岳縦走を実行することに。所々綱が垂らされた急登を慎重に登る。森林限界に達すると緑の低木の間に岩が所どころ剥き出しになった領域。薄明るい中を進み、黒見岳山頂。眺望無くただちに退散、メインルートに復帰。宮之浦岳を目指す。翁岳付近で僅かな晴れ間。低木帯のそこかしこに白い花崗岩が剥き出しになった場所だ。ここぞとばかりに写真を撮る。補給後張り切



って進む。ようやく辿りついた宮之浦岳山頂も眺望なし。風の当たらない岩陰で休憩の後、先へ進む。三岳の最後、永田岳への分岐だ。藪漕ぎして着いた岩のピークからはまたもや眺望無し。記念にと強風に晒された岩の上に。強風のため立ちあがることを諦めた瞬間、風上方向の雲が晴れてきて海を見下ろせた(写真左)。三岳を縦走したご褒美かも。戻って縄文杉へ向かう。雨に濡れた木階段も石段も滑り易い。実際、コケでザックの中の魔法瓶を潰してしまった。幸い怪我なし。徐々に高度を下げながら樹林帯に入る。次第に杉の巨木

が現れる。関東の人工杉林と違い、多様な植生の中に混じって立っている。宿泊候補地の高塚小屋に13時到着。これなら白谷山荘に日没前に到達できそうだ。そうなれば、最終日は余裕でバスに間に合う。しかも明るいうちに屋久杉エリアを通れる。巨大な縄文杉を始め、屋久杉には多くの草木が着生し、一見カオスのようであるが調和のとれた生態系を形成している。巨木を見慣れて感動が薄れてきた。トロッコ道に到達。ここまでに、森の中に幕営しながら木道を整備する人達以外に4組ほどしか見かけなかった。トロッコ道は傾斜が緩い。小走りしながら距離を稼ぐ。楠川分れから再び登山道に入り、登り道に。峠を越すと『もののけ姫』のモデルになったとされる「苔むす森」。緑が濃厚で神秘的だ。しかも薄暗くなり、慎重に進む。文字通り苔むすため、とても滑り易い。程なく白谷山荘に到着。コンクリートブロック作りの沖縄家屋風の建物。中には一人の若者。広々しており、電灯もトイレもあり、沢水が軒下に引かれている。おまけにAEDまで備えられている。素晴らしい居心地の中、二人であれこれ話をしながら濡れた服を乾かし、夕飯。温まったところで就寝。



CT: 淀川小屋 4:20 - 花ノ江河 5:30 - 黒見岳 6:15 - 宮之浦岳 8:25/8:40 - 永田岳 9:35/9:45 - 新高塚小屋 12:00 - 縄文杉 13:00 - 楠川分れ 15:30 - 辻峠 16:05 - 白谷山荘(泊) 16:35

### 11月7日(火) 天候:曇時々晴

最終日は下山口まで1時間なのでのんびり6時起床。明け方は近くで屋久猿の鳴き声が出ていた。結局ネズミは出なかった。雨は止んでいる。寄り道してから降りるといって若者を残し、下山路へ。渡渉地点は増水していない。弥生杉を眺めてビジターセンターのある登山口に。バスを乗り継いで島北部の楠川温泉(鉱泉)で温まり、空港へ。空港食堂でトビウオの醤油漬け丼でお腹を満たした。島では空港以外殆ど山中で過ごした48時間だった。

CT: 白谷山荘 7:30 - 弥生杉 8:15 - 白谷雲水峡 8:30 = (バス) = 楠川温泉(入泉) = 屋久島空港 = 鹿児島空港 = 羽田空港

屋久島を含む6日間の九州遠征。温泉と好天で癒しの前半3日、屋久島らしい天候の中での縦走を満喫した後半3日。過密スケジュールだが念願の計画が実行できて満足。次はゆっくりと巡りたい。(記:OT)